

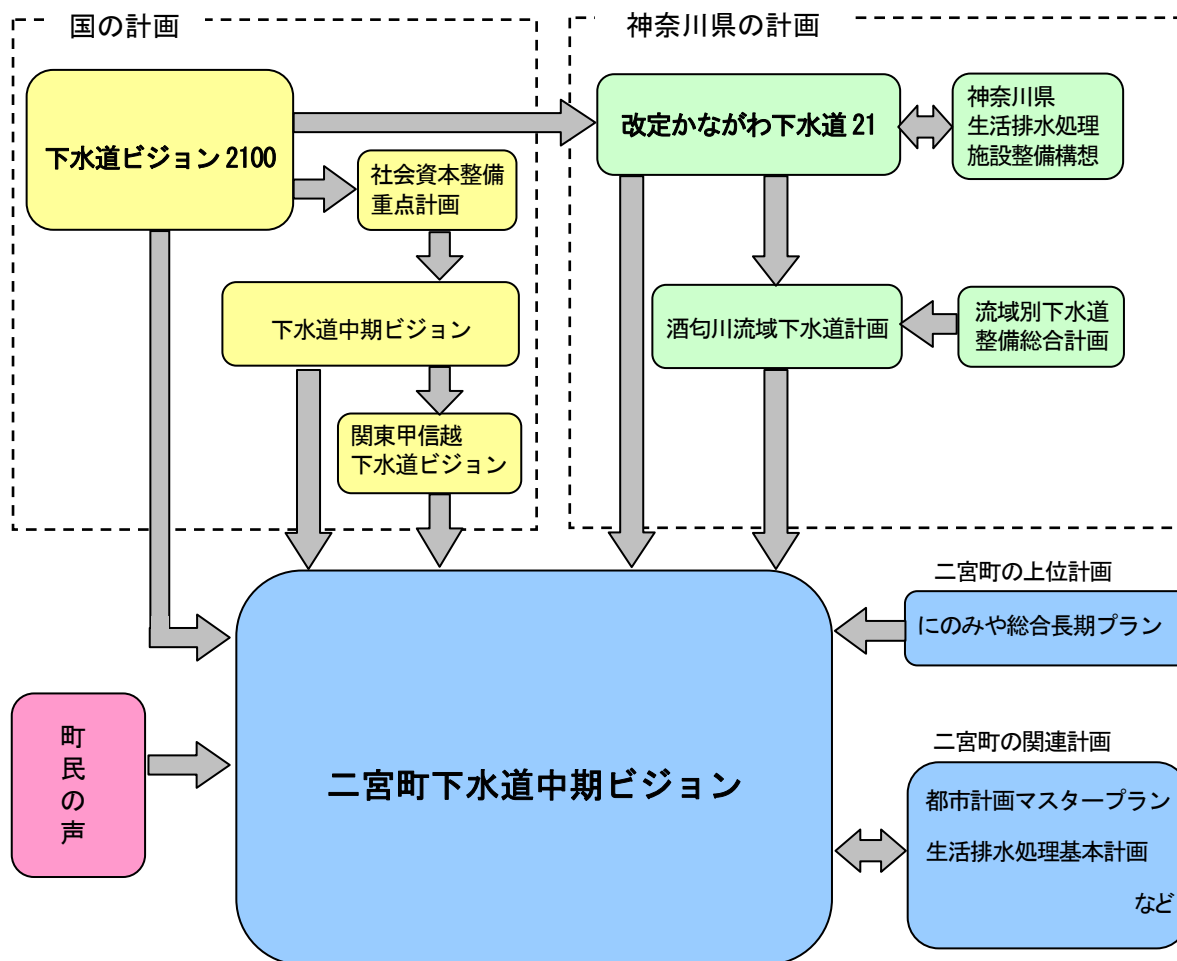
I. 下水道中期ビジョンの策定の背景

二宮町の公共下水道は、平成元年度に酒匂川流域関連二宮公共下水道として事業着手し、「公共用水域の水質保全」、「生活環境の改善」等を目的に整備を進め、平成21年度末における下水道処理人口普及率は、約76%になりました。

今後、下水道事業の推進にあたっては、「下水道未普及地区の早期解消」のほか、「人口減少等の社会情勢の変化への対応」、「近年頻発する集中豪雨に対する浸水対策」、「大規模地震等に対する下水道施設の防災対策」、「下水道施設の老朽化に起因する事故、機能停止等への対策」等の新たな課題に取り組む必要があります。

様々な課題と財政的な制約の中で下水道事業を効率的・効果的に進めるためには、中長期的な視点に立って事業を選択し実施する必要があります。

そこで、今後の下水道事業の基本方針を明らかにするとともに、概ね10年間に取り組む施策の方向を示す「**二宮町下水道中期ビジョン**」（以降、「本ビジョン」という。）を策定し、実践していきます。



下水道中期ビジョンの位置づけ